

古田 愛子さん

NPO法人あい・介護ネットワークーズ
訪問介護事業所 あいケアサービス 介護主任 介護福祉士 (川崎市中区)
URL: <http://www.banaien.com/>



撮影：秋山 崇
聞き手：編集部

利用者は鏡。自分が元気だと
相手も元気になるんです

子どものころからの夢は幼稚園
の先生で、短大卒業後は幼稚園
教諭として4年間勤務しました。

その後、知人が立ち上げたデイサー
ビスで、責任者を2年間務めまし
た。しかし、人の上に立つ以上は、
資格が欲しいと思い、26歳から2年
間、専門学校に介護福祉士の資格

を取得するために通学しました。さまざま年齢の方々と一緒に学
ぶことができ、すごく楽しかったですね。実習先の指導者よりも、私
のほうが年上で現場経験がある場合でも、そこは何も言わずに学ぶ。
最初はやはり辛かったですが、謙虚さが身に付いたと思います。

専門学校に通う以前は、責任感から無我夢中で働いており、体調を
崩したことがありました。この仕事を長く続ける秘訣は、無理をしな
いこと。自分1人が頑張っているでも自画自賛だけです。「利用者は鏡」
と恩師に教わったことが今はよくわかります。自分が元気だと、相手
も元気になるんですよ。

昨年は結婚もしましたが、会社や同僚の理解もあり、今はプライベ
ートと仕事をしっかり分けられるようになりました。当社は事業所間
の人事交流も活発で、異動によるスキルアップも可能であるなど、働
きやすい職場だと感じています。自分の子どもが生まれたら、異動前
に勤務していたグループホームに連れて行こうと思うんですよ。子ど
もの面倒を見てもらいながら、私は働く(笑)。今後は幼稚園教諭の経
験を活かして、世代間交流を活発にしていきたいですね。



「介護をするときは常に自分のことに置き換えて考えています」と古田さん

Aiko Furuta
●1976年1月14日生まれ、川崎市出身。A型。洗足学園短期大学幼児教育科卒業後、幼稚園教諭として幼稚園に4年間勤務。その後、デイサービス責任者を2年間務める。26歳から2年間、YMCA福祉専門学校に通学し、介護福祉士資格を取得。卒業後、NPO法人あい・介護ネットワークーズに就職、グループホームバナナ園ほりうち家で勤務する。2005年に結婚、現在は訪問介護事業所あいケアサービスの介護主任を務める。